

豪雨と猛暑。被災地は
きびしく暑いですね。熱中症も心配。



止めましょう！
テロも戦争も

日本共産党北区議会議員
さがらとしこ
区政レポート

日本共産党議員団

2018.7.12.No1581.

御相談はお気軽に

TEL とも 3905-0970

FAX とも

さがらとしこ事務所

赤羽北3-23-17

(バス停「赤羽北3丁目」メガシティ近く)

"86道路計画はわめてください" 7月10日
東京地裁
赤羽西の住民による訴訟 第2回目の陳述
原告席と傍聴席に80名がかけつけて



2018/07/10



KAKUTA 3h 2018.7.10. (3)

東京都市計画道路事業補助線街路第86号線事業認可取消請求事件

原告 高崎忠道 外95名

被告 国 (処分行政庁関東地方整備局長)

意見陳述書

東京地方裁判所民事第2部D係 御中

◎この日、原告団を代表して意見を陳述したのは、
静勝寺近くにお住まいの角田さんです。

◎103号法廷内では写真が撮れず、
区議 さがらとしこ

2 まぼろしの道路計画である86号線

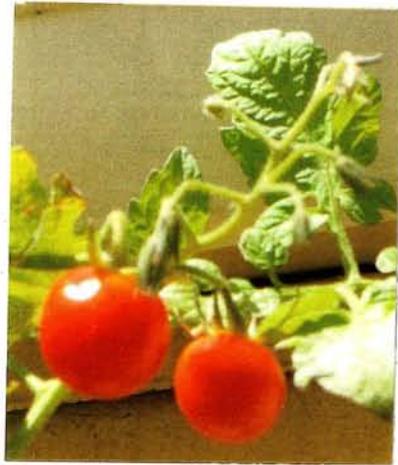
86号線の道路計画は、終戦直後の1946(昭和21)年に戦災復興を目的として計画されたものです。私の両親が家を建てたのは計画の2年後である1948(昭和23)年ですが、その頃から86号線の計画は「まぼろしの道路計画」と言われていました。家を建築してから65年以上もの間、86号線の事業が実行に移されるという話は一切なく、私の両親も私も、86号線道路計画を意識することなく、生活していました。

しかし、2013(平成25)年の暮れに、突然、防災を目的とした特定整備路線として86号線を作る、という話が一方的に出てきて、大変驚きました。

3 百害あって一利もない86号線

86号線道路計画ができてから70年が経過し、事情は大きく変わっています。環七と環八も整備されている現在では、その真ん中を通るように86号線を通す交通上の必要性はありません。

また86号線は、サッカー競技場やオリンピック強化練習場の施設に接近して作られようとしています。自動車の排気ガスが立ち込める中で運動をしなければならぬ選手たちが不憫で仕方ありません。

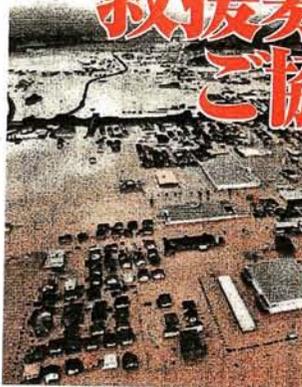


～プランターで育つミトマト～

▶7月15日、日本共産党は創立から96周年を迎えます。

▶侵略戦争反対と国民主権男女平等の旗をかかげつけて。

豪雨災害 救援募金にご協力を



A 冠水した岡山県倉敷市(しんぶん県議団地方部D)

西日本中を襲った集中豪雨による大被害の犠牲者に哀悼を捧げ、被災者にお見舞い申し上げます。

日本共産党は、対策本部を立ち上げ(本部長は小池貴博記局長、伊藤誠議員)いたします。全国でも救援募金を呼びかけます。救援募金に、みなさんご協力をお願いします。

募金の受付先は
郵便振替
00170-9-140321

日本共産党災害救援募金係
※必ず「豪雨災害救援募金」とご記入ください。
手数料はご負担願います。

お問い合わせは 03-5972-1021、FAX 03-5972-1590
2018年7月9日 日本共産党東京都委員会からのお知らせ
7/15(金)発行 1000字(1000字) 1000字(1000字) 1000字(1000字)

日本共産党

心きくお見舞いを申し上げます。
お預りした救援募金はすべて被災地に。



<左の写真>赤羽自然観察公園の入口付近です。草地が、86道路予定地。右は湧水活用の風呂



また、86号線は赤羽自然観察公園の真ん中を通ります。自然観察公園に憩いを求めに来ている老人たち、遊びに来ている子どもたち、その親たちが環境汚染によって健康を害してしまいます。

まさに86号線計画は百害あって一利ない道路計画です。

4 不必要なトンネル計画

私の住んでいる家は高台にあります。86号線は高台を削り、トンネルの下を通るとのことです。すでに完成している志茂町東方面からトンネルの入り口までの20メートルの道路は、現在車の往来はほとんどありません。たとえ完成しても、トンネルはほとんど使われず、無駄な道路開発に終わるでしょう。

しかも、今回のトンネルの工事には、住居の移転を要さずに掘削を行う「シールド工法」ではなく、「開削工法」が用いられるとのこと。「開削工法」により、工事中の天災によって周辺住民の安全が害されるリスクがあります。具体的には、住宅地の真ん中で開削を行うことによって、仮に工事期間中に豪雨による荒川の氾濫等が起きた場合には、周辺住民に取り返しのつかない被害が生じてしまいます。また、工事完成後も、地盤が弱くなってしまったため、ちょっとした地震などでも大きな災害に繋がってしまいます。このような天災リスクについては考えているのでしょうか。「防災のため」に道路を通すとのことですが、トンネルを作ることによってかえって災害に弱くなってしまわないかと心配です。

5 最後に

私は、海外に長く住んでいました。その私から見て、日本人は歴史や伝統を大切にしていると感じています。そのような日本人の姿は、外国からも尊敬を集めています。

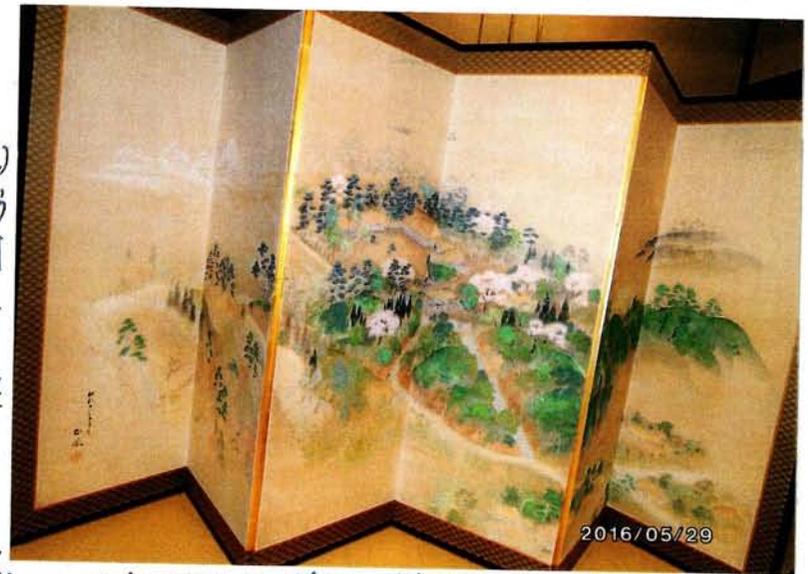
それにもかかわらず、「防災のため」という疑わしい理由で北区の宝である稲付城跡を破壊し、道路を通すということは到底納得ができません。60年前のオリンピックの際に周辺環境を破壊して日本橋の頭上に高速道路を作ったにもかかわらず、今になって歴史を残すために高速道路を壊し、以前の周辺環境を再現するという話があります。この86号線道路計画において、絶対に二の舞を踏みたくはありません。

86号線は「防災のため」と言いますが、本当に防災を考えるのであれば、「減災」のために毎日の生活の中でいつ起こるか分からない「天災」と真剣に向き合い、ライフラインの整備を始めとして、住民が真に安心できる対策をとらなければなりません。

一日も早くこの86号線計画を撤回し、廃止していただくようお願いいたします。

<写真説明>

太田道灌(どうかん)ゆかりの静勝寺(しやうしょうじ)には、絵地図や古文書などの近世文書68点が、北区の指定有形文化財に指定されています。さらに近代文書152点が「静勝寺近代文書」として北区の白帳登録となっています。



<寺に残る古い絵図> 静勝寺内蔵。さがら区議が撮影